

当別町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

当別町のコミュニティバスは、スウェーデンヒルズ地区とJR太美駅を經由し、札幌市北区とを結ぶ地域間幹線路線とこれに付随するフィーダー5系統を確保しており、通勤・通学・高齢者等の通院のほか、買い物などに利用されており日常生活に不可欠なものである。交通弱者である子どもや高齢者の移動手段を確保することで、住民の住環境の向上、高齢者の行動範囲拡大による健康増進を図るほか、コミュニティバスを通じて環境問題への啓発も資することができる。一度失ってしまったバス交通を回復させるために相応の歳月を要したことを考えると、バス路線は容易に廃止すべきものではなく、町民の健康で安全な必要最低限の住環境を守るためにも、地域公共交通の中心であるコミュニティバスを確保することは重要である。

地域公共交通の現況

【鉄道】
・JR札沼線
当別駅、太美駅、北海道医療大学駅、ロイズタウン駅
【コミュニティバス等】
・当別ふれあいバス
地域間幹線系統：あいの里金沢線
地域内フィーダー系統：青山線、市街地予約型線、西当別道の駅線
・月形当別線
【タクシー・ハイヤー】
・3社
【スクールバス】
・11系統

生活交通確保維持改善計画の目標

コミュニティバスの運行による住民サービスの向上効果を得るため、次の目標を定める。

【青山線】

令和3年補助年度実績5,241人/年を令和4年度の推測値とし、5,300人/年を目標とする。

【市街地予約型線】

令和3年補助年度実績3,683人/年を令和4年度の推測値とし、3,700人/年を目標とする。

【西当別道の駅線】

令和3年補助年度実績6,991人/年を令和4年度の推測値とし、7,000人/年を目標とする。

【車両減価償却費等国庫補助】

令和3年補助年度実績2,730人/年を令和4年度の推測値とし、2,800人/年を目標とする。

令和5年度事業概要

- 1 青山線① JR当別駅南口～とうべつ整形外科～みどり野会館 1回200円 平日7便 休日6便 運行日数364日(平日246日 休日118日) 運行回数1,211.5回
- 2 青山線② JR当別駅南口～とうべつ整形外科～青山会館 1回200円 平日のみ8便運行 運行日数246日 運行回数980回
- 3 市街地予約型線 JR当別駅南口～当別町内～JR当別駅南口 1回200円 平日のみ8便運行 運行日数246日 運行回数1,266回
- 4 西当別道の駅線 北欧の風道の駅とうべつ～JR太美駅～ヒルズE5-3-17 1回200円 平日9便 休日10便 運行日数364日(平日246日 休日118日) 運行回数1,692.5回
- 5 スターライト道の駅線 北欧の風道の駅とうべつ～JR太美駅～太美スターライト中央 1回200円 平日3便 休日3便 運行日数364日(平日246日 休日118日) 運行回数544.5回

協議会開催状況

令和4年6月28日 第1回協議会を開催
主な協議事項：令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画他
令和4年10月10日 第2回協議会を開催
主な協議事項：令和4年12月1日付けダイヤ改正について他
令和4年12月20日 第3回協議会を開催
主な協議事項：地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価他
令和5年2月17日 第4回協議会を開催
主な協議事項：令和5年度事業計画・予算案他
令和5年3月27日 第5回協議会を開催(書面)
主な協議事項：当別町地域公共交通計画の策定について
令和5年6月28日 第1回協議会を開催
主な協議事項：令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画他
令和5年10月12日 第2回協議会を開催
主な協議事項：令和5年12月1日付けダイヤ改正について他
令和5年12月22日 第3回協議会を開催
主な協議事項：地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価他

令和5年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・「とべナビ」アプリの運用、デジタルサイネージの運用
- ・小学生向けのモビリティ・マネジメント
- ・小中学生向け夏休み冬休み子ども定期券の販売
- ・利用者ヒアリング調査(車内ヒアリング)

2) 運行系統

【青山線】



【西当別道の駅線】

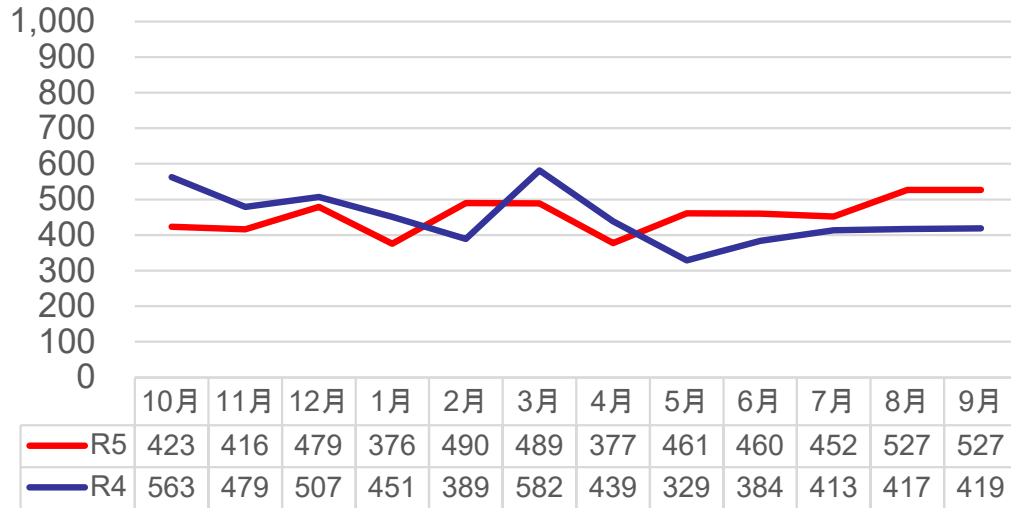


【市街地予約型線】

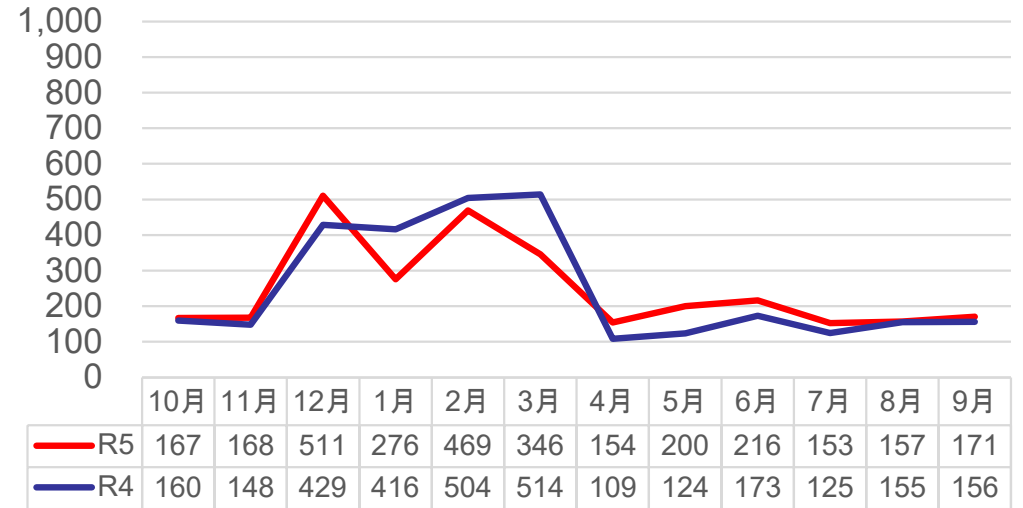


3) 利用実績

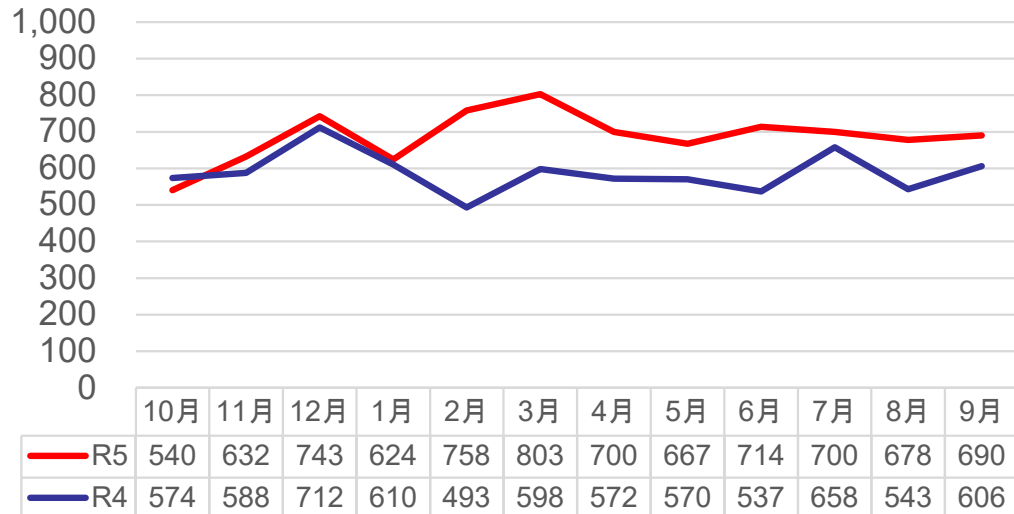
青山線



市街地予約型線

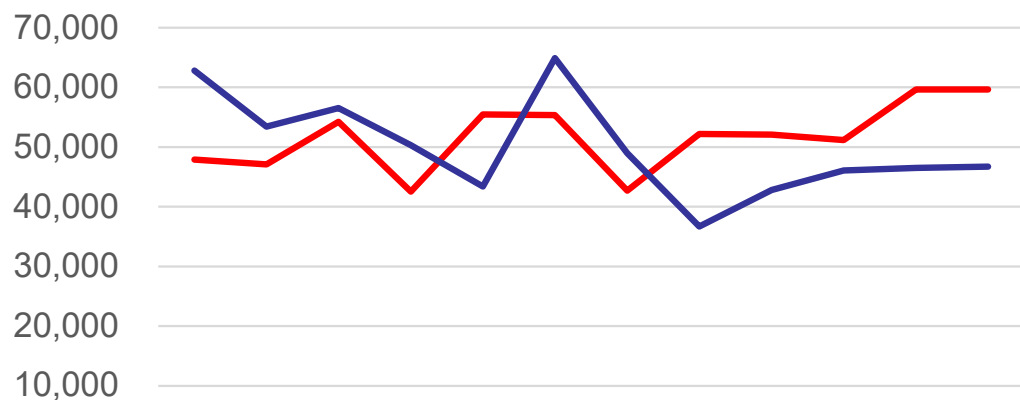


西当別道の駅線・スターライト道の駅線



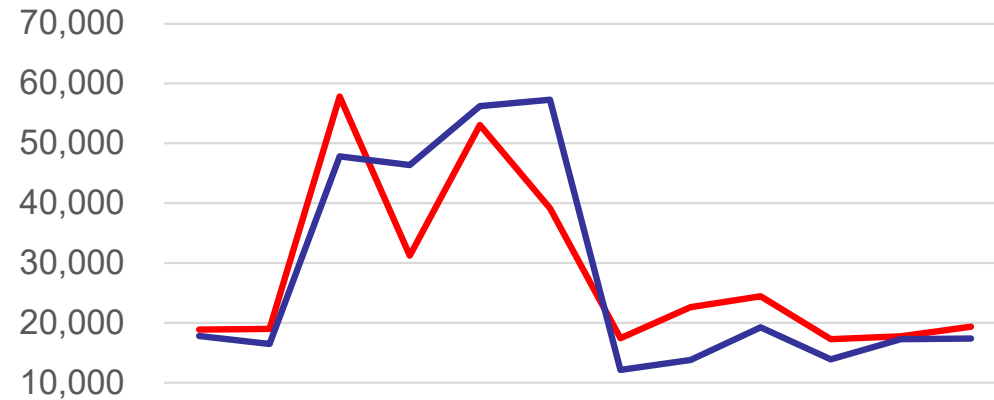
4) 収入実績

青山線



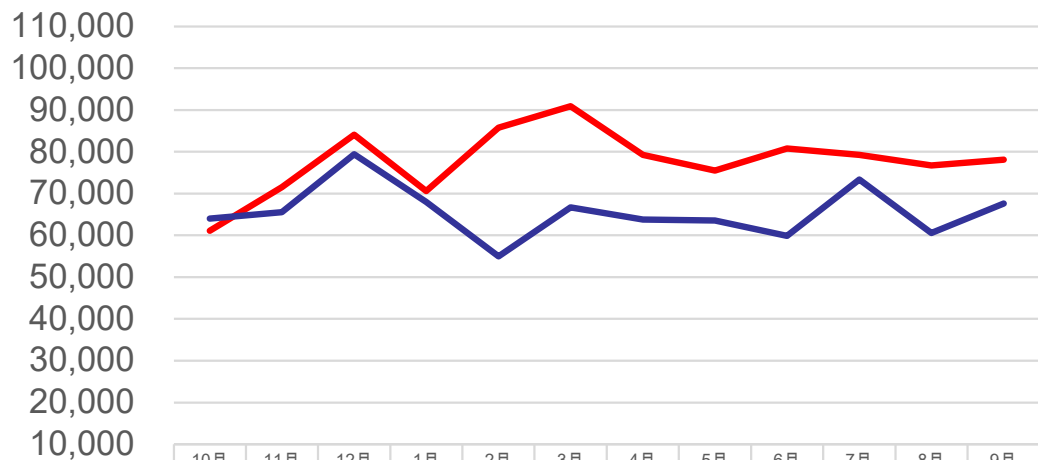
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R5	47,886	47,093	54,225	42,565	55,470	55,357	42,678	52,187	52,074	51,169	59,659	59,659
R4	62,789	53,421	56,544	50,298	43,384	64,908	48,960	36,692	42,826	46,060	46,506	46,729

市街地予約型線



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R5	18,905	19,018	57,847	31,244	53,093	39,169	17,433	22,641	24,452	17,320	17,773	19,358
R4	17,844	16,506	47,845	46,395	56,209	57,324	12,156	13,829	19,294	13,941	17,286	17,398

西当別道の駅線・スターライト道の駅線



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R5	61,131	71,545	84,111	70,640	85,809	90,903	79,243	75,508	80,828	79,243	76,753	78,111
R4	64,016	65,577	79,406	68,031	54,982	66,692	63,793	63,570	59,889	73,384	60,559	67,585

5) 事業実施の適切性

1. 青山線①②

事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施されている。

2. 市街地予約型線

事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施されている。

3. 西当別道の駅線、スターライト道の駅線

事業が計画に位置付けられたとおり適正に実施されている。

6) 目標・効果達成状況

1. 青山線①②

年間利用者数 目標 5,300人 実績 5,477人

2. 市街地予約型線

年間利用者数 目標 3,700人 実績 2,988人

3. 西当別道の駅線、スターライト道の駅線

月間利用者数 目標 7,000人 実績 8,249人

4. 車両減価償却費等国庫補助

交通弱者の利用者 目標 2,800人 実績 1,685人

7) 事業の今後の改善点

1. 青山線①②

目標は達成できたものの、コロナ禍前と比べると利用者は減少しており、同時に人口減少も進んでいる地域であることから利用者の絶対数も減少しているため、ダイヤや運行形態の見直しについて検討する。

2. 市街地予約型線

運行形態や運行エリアの見直しについて検討するとともに、利用方法の周知や地域でのモビリティ・マネジメントを実施する。

3. 西当別道の駅線、スターライト道の駅線

目標は達成できたものの、新型コロナウイルスの影響による利用者離れが解消した訳ではないため、引き続きダイヤの見直し等、更なる利用促進に努める。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

(令和6年度分と併せて評価)